

2007年ユニバーサル技能五輪国際大会 (第7回国際アビリンピックと第39回技能五輪国際大会の同時開催)

独立行政法人 高齢・障害者雇用支援機構 雇用開発推進部国際アビリンピック準備室
(財団法人 2007年ユニバーサル技能五輪国際大会日本組織委員会)

2007年ユニバーサル技能五輪国際大会が2007年(平成19年)の11月に静岡県で開催される。

2007年ユニバーサル技能五輪国際大会は、第7回国際アビリンピックと第39回技能五輪国際大会が同時開催されるものである。国際アビリンピックと技能五輪国際大会が同時開催されるのは史上初めてのことであり、各方面から注目されている。

第7回国際アビリンピックには、30を超える国や地域から選手・関係者で約1,000人の参加が見込まれ、2007年ユニバーサル技能五輪国際大会全体では、一般来場者を含め20万人の来場を見込んでいる。

主な日程等は、表1のようになっている。

1. 国際アビリンピックのはじまり

国際アビリンピックは、障害者の職業的自立の意識を喚起するとともに、事業主および社会一般の理



写真1 ツインメッセ静岡

表1 2007年ユニバーサル技能五輪国際大会の日程・場所等

大会期間	2007年ユニバーサル技能五輪国際大会 2007年11月7日(水)～21日(水) 15日間	
	第7回国際アビリンピック(静岡会場) 2007年11月13日(火)～18日(土) 6日間	第39回技能五輪国際大会(沼津会場) 2007年11月7日(水)～21日(土) 15日間
競 技	ツインメッセ静岡(静岡市) 2007年11月15日(木)～17日(土) 3日間	門池地区(沼津市) 2007年11月15日(木)～18日(日) 4日間
開会式	「第7回国際アビリンピック」と「第39回技能五輪国際大会」の開会式を合同で開催 グランシップ(静岡市) 2007年11月14日(水)	
閉会式	グランシップ(静岡市) 2007年11月18日(日)	キラメッセぬまづ(沼津市) 2007年11月21日(水)

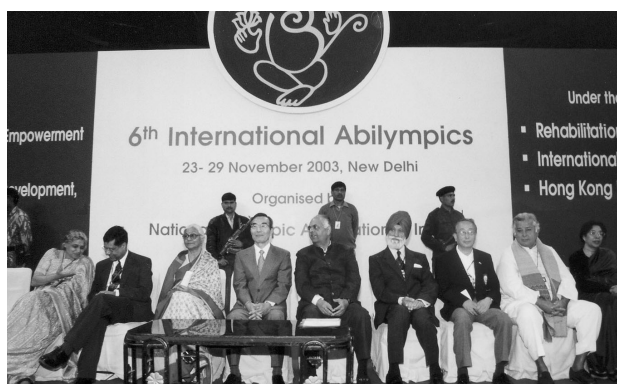


写真2 開会式



写真3 表彰式

表2 過去の国際アビリンピック開催時期および開催地

実施回	実施時期	実施地
第2回大会	1985年(昭和60年)10月	コロンビア(ボゴタ)
第3回大会	1991年(平成3年)8月	香港
第4回大会	1995年(平成7年)9月	オーストラリア(パース)
第5回大会	2000年(平成12年)8月	チェコ(プラハ)
第6回大会	2003年(平成15年)11月	インド(ニューデリー)

解と認識を深め、さらに国際親善を図ることを目的とし、1981年(昭和56年)10月に「国際障害者年」を記念して東京で実施され、それ以後、ほぼ4年ごとに開催されている(表2)。

大会の開催に当たっては、いずれも開催国の障害者団体が主催団体となり、国際リハビリテーション協会(Rihabilitation International(RI))および国際アビリンピック連合(IAF:第3回の香港大会以降)との共催で開かれている。

2. これまでの国際アビリンピックの状況

これまでに実施した国際アビリンピックは、多数の国から多数の選手、ボランティア等が参加し、盛況のうちに実施された(表3)。

3. 直近のアビリンピックの結果

第6回国際アビリンピックは、2003年11月23日から29日までの7日間、インドのニューデリーで開催された。33カ国・地域から1,000人余りが登録し、約400人のボランティアが大会に協力した。

日本からは、58人が参加し、選手は、職業技能競

表3 過去の国際アビリンピックへの参加国・参加者数等

実施回	期 日	参加国	参加者数	うち日本人
第1回大会	1981年10/21 ～23	56カ国	841人	171人
第2回大会	1985年10/1 ～5	54カ国	987人	27人
第3回大会	1991年8/10 ～14	83カ国	2,000人	126人
第4回大会	1995年9/1 ～5	32カ国	1,000人	100人
第5回大会	2000年8/13 ～18	29カ国	1,137人	89人

技12種目に19人、生活・余暇技能競技1種目に1人が参加したほか、デモンストレーション4種目に5人が参加した。

日本選手は、英文ワープロおよびCAD製図において銀賞、家具製作で銅賞を獲得するという結果になった。

4. 2007年ユニバーサル技能五輪国際大会

(1) 概要

国際アビリンピックは、世界各国の障害を持つ選手が集い、職業技能や生活余暇技能を競う大会である。障害者の職業的自立意識の喚起、社会一般の理解の増進、参加者の交流等を目的として、競技のほかにも国際会議や展示、デモンストレーションなどが行われる。

技能五輪国際大会は、国際的に技能を競うことにより、参加国の職業訓練の振興および技能水準の向上を図るとともに、青年技能労働者(満22歳以下)の国際交流と親善を目的とした大会である。

2007年ユニバーサル技能五輪国際大会は、第7回

国際アビリンピックと第39回技能五輪国際大会が史上初の試みとして同時開催されるものである。

(2) 運営

2007年ユニバーサル技能五輪国際大会は、財団法人2007年ユニバーサル技能五輪国際大会日本組織委員会（以下「組織委員会」）により運営される。

組織委員会は、厚生労働省、独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構、中央職業能力開発協会、静岡県、沼津市、静岡市などと緊密な連携をとりながら運営を行っている。

(3) 大会のテーマ

2007年ユニバーサル技能五輪国際大会では、次のテーマを掲げ、大会を運営することとなっている。

① 「ものをつくりだす人と技」の価値に注目する

「ものをつくりだす」ことは、人間に与えられた最も根元的能力の一つであり、人々は、技能を習得していく中で、自己を確立し、その喜びを手にし、さらに研鑽をしてきた。今、人々は、21世紀の新しい社会においても、「ものをつくりだす」ことを通じて、自らが主役となる活力に溢れたくらしを実現するために、改めて「ものをつくりだす人と技」の価値に注目することが求められている。

② 「ものをつくりだす人と技」の価値を体験する

「技能五輪国際大会」と「国際アビリンピック」の同時開催は、「ものをつくりだす」ことが1人ひとりの自己実現や生きることの喜びと深く結びついていることや、障害の有無にかかわらず、「ものをつくりだす人と技」が生み出す驚きと感動を再発見するまたとない機会である。驚きと感動の体験は、多くの人々の関心を高め、さまざまな人々の出会いをつくりだし、それがさらに次の発見へとつながる。

③ 「ものをつくりだす人と技」の価値を共有し、世界へ発信する

「2007年ユニバーサル技能五輪国際大会」の開催を通じて、多くの人々が「ものをつくりだす人と技」の価値を実感し、その価値を共有すること

になる。その人々が、さらに多くの人々や、とりわけ次世代を担う若者へ、そして世界へその価値を発信することにより、21世紀の重要な価値観として広く社会に定着していくものと確信する。

(4) 競技種目と競技内容

第7回国際アビリンピックでは、「職業技能競技」と「生活余暇技能競技」を実施することとしている。さまざまな障害の選手が参加できるよう、新たに職業技能競技のいくつかの種目で「基礎部門」を設けることとした。

各種目の競技課題は、2007年1月に公開を予定している。

以下に競技内容の参考例を示す。

〔職業技能競技〕

① 義肢

仕様書に従い義足のソケットを制作する。

② 籠制作

指定された材料を使用して、定められたサイズの籠を自由なデザインで制作する。



写真4 籠製作

③ 建築CAD

与えられた建築平面のスケッチ図をもとに、CADソフトを使って、建築基本設計図を作成する。

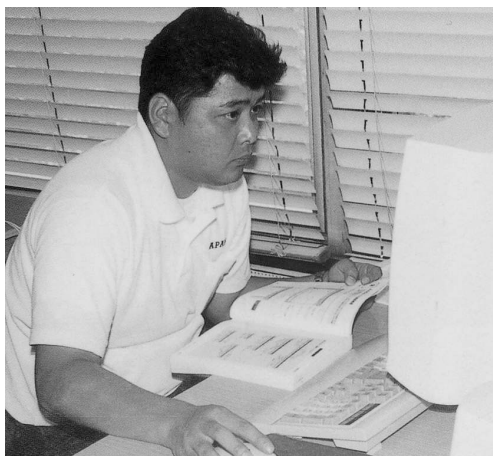


写真5 CAD製図

④ 機械CAD

機械装置の組立図面中で、指定された部分の部品図を、CADをソフトを使って作成する。

⑤ コンピュータプログラミング

指示に従って作成したプログラムにより、ロボットアームに図形を作図させる。

⑥ ホームページ作成

指示されたコンテンツを盛り込んだホームページをデザインし、作成する。

⑦ データベース作成（応用）

市販のソフトを使って、表（テーブル）作成、データの取り込み、データの抽出及び更新・削除、表示画面（フォーム）作成及びデータ入力、レポート印刷、データ分析、メニュー作成等を行う。

⑧ データベース作成（基礎）

市販のソフトを使い、帳票に従って、データ（売上伝票、住所録等）の入力を行う。

⑨ 歯科技工

指定された方法で、義歯を作成する。

⑩ 洋裁－婦人服（応用）

支給された材料を用いて、婦人服を仕立てる。

⑪ 洋裁－婦人服（基礎）

洋裁の基礎技能を中心に用いて、エプロン等を製作する。

⑫ 電子機器組立およびテスト

指定部品を使用して、回路図、部品端子図、シャーシー組立図およびプリント板組立図に従

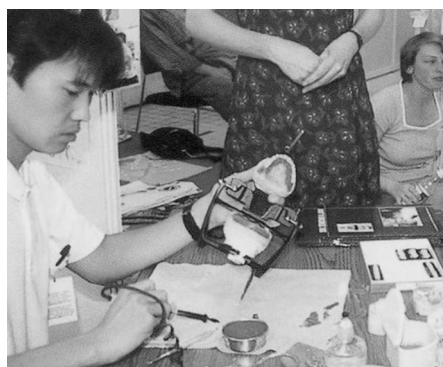


写真6 歯科技工



写真7 洋裁

って電子機器を作製し、仕様のとおりに正しく作動することを確認する。

⑬ 電子回路接続

支給された部品を使用して、仕様書に基づいて電子回路を作製する。

⑭ 英文DTP

DTPソフトにより、指示のとおり宣伝用の印刷物を作成する。

⑮ 英文ワープロ

Windows MSワードを使用して、指示のとおりの文書を作成する。フォント・文字の調整・修飾、ワードアートの使用、描画オブジェクトの挿入、ヘッダー・フッター・脚注の使用、表の挿入などの技術が要求される。

⑯ フラワーアレンジメント

植物及び飾りを選び、指定された用途にあったアレンジメントを完成する。

⑰ 家具製作（応用）

与えられた材料を使用して、仕様および図面に従って各パーツを作成し、組立図のとおりに家具を製作する。

⑱ 家具製作（基礎）

家具製作の基礎となる技能を中心に用いて作品を完成する。

⑲ 貴金属装身具

指定された工具と機械を用い、支給された材料から、図面によるデザインと寸法精度の高い製品を製作する。

⑳ 機械組立

工具を使用してマウンテンバイクの一部を分解し、その後正しく組立て、調整を行い、完成車に仕上げる技能を競う。

㉑ パソコン組立

支給される各パーツを仕様書通りに組立て、Windows XPをインストールして、そのパソコンを作動させる。

㉒ 写真撮影

人物、自然、建造物等を指示されたテーマに沿って撮影する。

㉓ ポスターデザイン

パソコンを使用して、与えられたテーマに沿ったポスターをデザインし、標語を入れて完成する。

㉔ 精密板金

工作機械を用いて、与えられた製作図に従って冷間圧延鋼板で2点の部品を製作し、組み合わせる。

㉕ 洋服－紳士服

支給された材料を用いて、紳士用の衣類を製作する。

㉖ 木彫

与えられた図面に指示されたデザインを、木板に彫刻する。

[生活・余暇競技]

① 刺繍

用意された布と刺繍糸を使って、刺繍の技能、色使いのセンス、仕上がりを競う。

② 編物

編物毛糸を使い、課題に従って手編みの作品を製作する。

③ 絵画

指定されたテーマで、自由な表現技法によって水彩画を描く。



写真 8 絵画

④ 陶磁器

日常生活の実用に供する陶磁器を制作する。

(5) 参加資格

第7回国際アビリンピックの日本選手団は、独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構が、過去の全国障害者技能競技大会の実績などを踏まえて派遣することになっている。

選手の条件は、「障害者の雇用の促進等に関する法律」第2条に定める「身体障害者」「知的障害者」「精神障害者」であり、大会参加時に15歳以上であることなどが定められている。

また、1種目について1国・地域からの参加は、原則として3名までとなっている。

(6) 併催事業

① デモンストレーション・展示

技能競技として計画していたが、競技としての成立要件を満たさなかった種目、および各国特有な職種をデモンストレーションとして実施する。

また、企業等による障害者の雇用・就労状況、就労支援機器等障害者の雇用促進、技能の向上に資するものを展示する。

② 国際会議

事業主、雇用・教育・福祉分野の専門家、行政関係者、大会参加者等に障害者雇用等の経験や専門知識を交換する場を提供するとともに、参加者間のネットワーク構築に役だつことを目的とした会議を実施する。



写真9 国際会議

③ 芸術祭

国内外の優れたアーティストの出演、作品の展示などを連携した行事として実施する。パフォーマンスアート、絵画、写真などの展覧会などで構成する。

キャリア・カウンセリング

理論と実際、その今日的意義

改訂新版

木村 周

A5判 352ページ

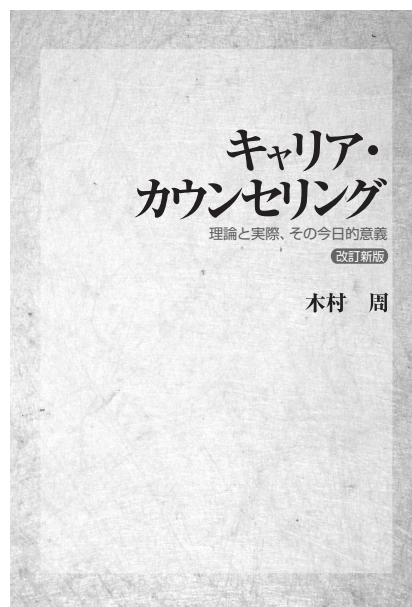
定価 2,730円(本体2,600円)

ISBN4-87563-218-5

好評発売中

近年ますますニーズが高まっているキャリア・ガイダンスとカウンセリングについて、広範にわたり諸理論を紹介・解説した第1部と、実践に即した具体的方法について詳説した第2部により構成。97年発刊の初版を全面的に改訂。

わが国のキャリア・カウンセリングの草分けの一人である著者による本書は、この分野における標準的テキストとしてキャリア・カウンセリングに関心をもつすべての人にお奨め。



■発行所

社団法人 雇用問題研究会

<http://www.koyoerc.or.jp>

〒104-0033 東京都中央区新川1-16-14 電話 03-3523-5181(代表) FAX 03-3523-5187